

住宅リフォーム潜在需要者の意識と行動に関する調査

(一社)住宅リフォーム推進協議会はこの3月に次頁掲載の「実例調査報告書」と同時に、「インターネットによる住宅リフォーム潜在需要者の意識と行動に関する第10回調査報告書」を発表した。

潜在需要の顕在化に有効な方策を検討するためのもので、調査は平成13年度から隔年で実施しており、今回もリフォームを考えているモニター1,000件を対象に実施した。

【調査結果の特徴】

I. 一般のリフォーム需要(図1)

リフォーム潜在需要が大きいのは50才代

II. リフォーム需要者の意識と行動

1. リフォーム潜在需要者のうち過去にリフォーム経験がある人が過半数を超える
2. 500万円超の大型リフォームを予定する割合が戸建て、マンションともに増加
3. 戸建ての場合、30才代は“親・配偶者の親”名義の家をリフォームするケースが多い
4. リフォームの動機は、戸建ては「性能向上」マンションは「居住空間の改善」が多い
5. リフォーム需要者は施工品質と、それに見合う適正な工事価格を重視している
6. リフォーム支援制度(減税・補助制度)の利用率は10.1%

【問合せ先】

(一社)住宅リフォーム推進協議会TEL:03-3556-5430

